

農林水産商工常任委員会資料

(平成29年8月21日)

項 目

- 1 平成29年度第1・四半期各事業実績について
..... 1ページ
- 2 竹内工業団地の新規土地売買契約の締結について
..... 2ページ
- 3 「県営発電施設PFI手法検討調査」(導入可能性調査対象施設)の
結果概要について
..... 3ページ
- 4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
..... 4ページ

企 業 局



平成29年度第1・四半期各事業実績について

平成29年8月21日
企業局経営企画課

1 電気事業

(1) 販売電力量

- 全体の実績は、目標に対して93.1%と下回ったものの、対前年比では117.5%と増加した。
- 水力発電は、期間を通じて降水量が平年に比べて少なかったことから、販売電力量の実績は目標の90.9%と下回ったものの、対前年比では、融雪による流入が昨年は3月に終了したのに対して今年は4月末まで継続したため、119.3%と上回った。
- 風力発電は、風況に恵まれたことから、販売電力量の実績は目標の102.2%を達成したが、対前年比では85.9%と下回った。
- 太陽光発電は、天候に恵まれ平年を上回る日射量が得られたことから、販売電力量の実績は目標の126.7%を達成し、対前年比でも113.6%と上回った。

(単位:MWh)

区 分		平成29年度			平成28年度 実績(C)	対前年比 B/C
		目標(A)	実績(B)	B/A		
水 力	第1四半期	43,804	39,809	90.9%	33,357	119.3%
風 力	第1四半期	1,296	1,325	102.2%	1,543	85.9%
太 陽 光	第1四半期	2,527	3,202	126.7%	2,818	113.6%
合 計		47,627	44,336	93.1%	37,718	117.5%

(2) 販売電力収入

全体の実績は、目標に対して102.3%と上回ったものの、対前年比では、FIT制度適用以外の水力発電所の料金改定などにより92.9%と下回った。

なお、発電区分別では、水力が96.8%、風力は102.2%、太陽光は126.7%となった。

(単位:千円)

区 分		平成29年度			平成28年度 実績(C)	対前年比 B/C
		目標(A)	実績(B)	B/A		
水 力	第1四半期	438,572	424,608	96.8%	478,746	88.7%
風 力	第1四半期	26,694	27,294	102.2%	31,788	85.9%
太 陽 光	第1四半期	97,784	123,892	126.7%	109,068	113.6%
合 計		563,050	575,794	102.3%	619,602	92.9%

※水力発電(FITを除く)は、定従比率(基本料金と従量料金の割合)が8:2であるため、発電量と収入は比例しない。

2 工業用水道事業

日野川工業用水は、契約数は83社と対前年で増減はなかったものの、契約水量は大口ユーザーの大幅減量等により28,400m³/日(対前年1,700m³/日減)となった。

一方、鳥取地区工業用水は、契約数が12社と増減はなかったものの、契約水量は大口ユーザーの増量により5,600m³/日(対前年1,000m³/日増)となった。

(1) 日野川工業用水道事業

区 分	平成29年度			平成28年度			調定額 対前年比 A/B
	契約水量 (m ³ /日)	契約数 (社)	調定額(A) (千円)	契約水量 (m ³ /日)	契約数 (社)	調定額(B) (千円)	
第1四半期	28,400	83	69,920	30,100	83	76,457	91.5%

(2) 鳥取地区工業用水道事業

区 分	平成29年度			平成28年度			調定額 対前年比 A/B
	契約水量 (m ³ /日)	契約数 (社)	調定額(A) (千円)	契約水量 (m ³ /日)	契約数 (社)	調定額(B) (千円)	
第1四半期	5,600	12	27,844	4,600	12	21,988	126.6%

3 埋立事業

旗ヶ崎団地で新規の長期貸付(1社)を行った。

(1) 新規売却及び長期貸付等の状況

区 分	地区	区分	売却・長期貸付先	面積(m ²)	売却・貸付料(千円)	備 考
第1四半期	旗ヶ崎	貸付	日清医療食品株式会社	1,962.03	1,413	H29.4.1から10年間

(2) 一括即納売却、割賦販売、長期貸付の収入状況

(単位:千円)

区 分	一括即納売却	割賦販売	長期貸付	収 入 合 計
第1四半期	0 (0社)	840 (1社)	91,321 (11社)	92,161 (12社)

竹内工業団地の新規土地売買契約の締結について

平成29年8月21日
企業局経営企画課

このたび、食料品卸販売業・化粧品製造卸販売業のエンチーム株式会社（本社：大阪市北区）と以下のとおり土地売買契約を締結しました。

1 進出企業の概要

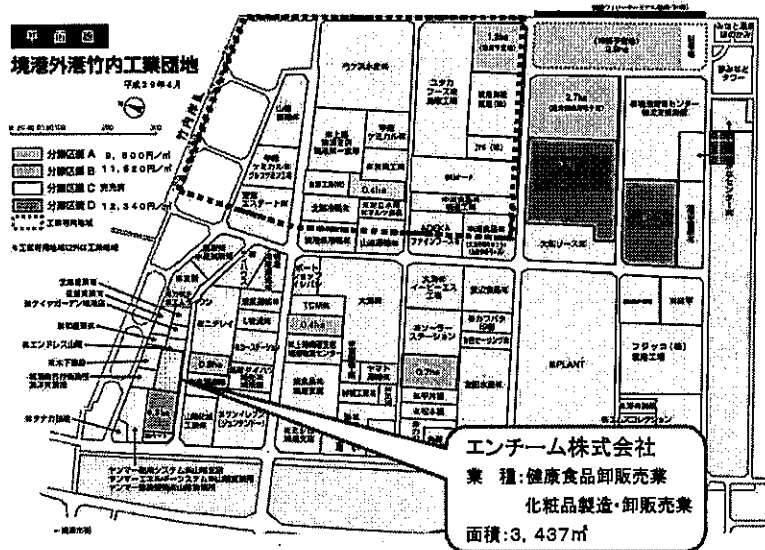
- (1) 名称 エンチーム株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 松岡 忠幸（まつおか ただゆき）
- (3) 所在地 大阪市北区西天満6丁目1-2
- (4) 業種 健康食品卸販売業・化粧品製造卸販売業
- (5) 従業員数 47名

2 分譲の概要

- (1) 分譲面積 3,437.28m²（境港市竹内団地124、125）
- (2) 用途 化粧品製造工場用地
- (3) 分譲価格 39,597,465円（単価：11,520円/m²）
- (4) 支払方法 一括払い
- (5) 契約日 平成29年8月9日

3 分譲地での事業概要

- (1) 事業内容 化粧品製造
- (2) 操業開始（予定） 平成30年7月（工事：平成29年12月～平成30年7月）
- (3) 新規常用雇用予定者数 10名



（参考） 境港竹内工業団地の処分状況（今回分譲後）

区分		埠頭区域	工業用地	公共用地	計
造成面積		16.9ha	78.4ha	33.3ha	128.6ha
処分	分譲面積	10.2ha	57.1ha (うち今回分譲0.3ha)	33.3ha	100.6ha
	長期貸付	0.0ha	13.8ha	0.0ha	13.8ha
未処分面積		6.7ha	7.5ha	0.0ha	14.2ha
処分率		60.4%	90.4%	100%	89.0%

※貨客船ターミナル背後地の2区画、5haを除けば、残り5区画、2.5ha。

「県営発電施設PFI手法検討調査」(導入可能性調査対象施設)の結果概要について

平成29年8月21日
企業局経営企画課

県営発電施設の改修、管理運営について、民間活力の活用を検討するため、県下全発電所を対象にPFI手法の導入対象施設等を検討する県営発電施設PFI手法検討調査を実施した結果、VFMの評価や現行FIT制度の適用等を踏まえ、今後実施する導入可能性調査については、小鹿第一・第二発電所、春米発電所を対象施設として検討することとしましたので報告します。

1 VFMの評価

VFMの評価結果		対象発電所	
○	VFM評価が高い(プラス) (県より民間コストが低い)	水 力	小鹿第一、小鹿第二、日野川第一
△	VFM評価がやや低い(マイナス) (県より民間コストがやや高い)	水 力	春米、佐治、新幡郷
×	VFM評価が低い(マイナス) (県より民間コストが高い)	水 力	加地、袋川、賀祥、若松川、横瀬川
		風 力	鳥取放牧場
		太陽光	西部・東部事務所、FAZ倉庫、鳥取放牧場、鳥取空港、竹内西緑地、天神浄化センター、境港中野

- (注1) PFI (Private Finance Initiative) …民間の資金とノウハウを活用して、公共施設等の設計・建設・改修や運営・維持管理を行う公共事業の手法
 (注2) VFM (Value for Money) …PFI事業における概念の一つで、従来の方式と比べてPFIの方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合(官民のコスト比較)
 (注3) 小鹿第一、小鹿第二、日野川第一発電所のコストはFIT制度適用の改修費と管理運営費。その他の発電所は管理運営費のみ。

2 導入可能性調査の対象施設

(1) 対象施設の選定

3施設(小鹿第一発電所、小鹿第二発電所、春米発電所)

(2) 選定理由

- ①小鹿第一・小鹿第二発電所は、VFMの評価が高く、既に施設劣化度調査も完了しているため、導入可能性調査の対象とする。
- ②春米発電所は、VFMの評価はやや低いですが、リニューアル工事によるFIT制度の認定も取得済みで、高収入により高い運営権対価が期待できる。また、付随する発電専用ダムを民間とのリスク分担により中津ダムと共に効率的に管理運営できる。さらに、スケールメリットを活かすためにも、春米発電所も導入可能性調査の対象とする。
- ※平成32年度にFIT制度(再生可能エネルギー固定価格買取制度)の廃止を含めた抜本的な見直しが予定されており、見直しの内容によってはPFI導入の前提の売電収入が見込めなくなる。
- ③日野川第一発電所は、VFM評価は高いが、以下の理由より改修内容等の検討に時間を要し、現行FIT制度の認定に間に合わないため、今後検討することとし、今回は導入可能性調査の対象としない。
- ※施設劣化度調査が未実施であり、かつ、設置場所等から他の発電所の更新工事よりも難易度が非常に高いことから、VFM算定を求めた一般的な改修費から大幅に変動する可能性が高く、このため、導入可能性調査に必要な改修計画の策定に時間を要する。
- ④佐治、新幡郷発電所は、VFMの評価はやや低いですが、今後のFIT制度や非化石価値取引市場の動向次第では、民間事業者の参画意欲が高まることが考えられるため、日野川第一発電所と併せて次期民間活力導入の候補とする。

3 今後の予定

平成29年度	PFI導入可能性調査の実施(3施設)、PFI導入可否の検討・決定
30年度	実施方針の策定・公表、公募要項の作成・公表
31年度	公募・優先交渉先決定、運営事業者の決定
32年度	運営事業者によるFIT制度認定取得

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

平成29年8月21日
企業局工務課

工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘 要
中津ダム管理棟 建替工事(用地 造成)	東伯郡三朝町 中津	株式会社高野組 代表取締役 高力 久美	117,072,000円 (予定価格) 125,797,320円	平成29年7月24日 ～ 平成30年12月25日	平成29年7月21日	簡易評価型総合評価競争入札 (6者)
日野川第一発電 所水車発電機細 密分解点検工事	日野郡日野町 福長	株式会社東芝 中国支社 支社長 提嶋 毅	210,600,000円 (予定価格) 215,771,040円	平成29年7月31日 ～ 平成30年3月23日	平成29年7月28日	制限付き一般競争入札 (1者)
小鹿第一線送電 線鉄塔除却工事	東伯郡三朝町 神倉～東伯郡 三朝町砂原	株式会社中電工 鳥取統括 支社 執行役員支社長 藪内 未男	122,040,000円 (予定価格) 122,356,440円	平成29年8月1日 ～ 平成30年3月15日	平成29年7月31日	制限付き一般競争入札 (1者)